

【作品について】



初めて龍を制作しました。

今回の作品のイメージを固めるために一年ほど前から龍について様々な資料を見たり使用素材の候補を取り寄せて吟味したり時間をかけて自分なりのイメージをつくり表現しました。この作品には『優しい淡色』『キラキラしている』『怖くない』『美しい』『かわいい』『かっこいい』『素材の組み合わせがおもしろい』そして『ポーズを変えられる』など、たくさんのイメージ(目標)をできるだけ織り込んで作り上げました。皆様の目にはどう映るでしょうか。

この龍は後足と尾で自立ができますが、付属の雲形の台座に飾ることもなかなか楽しく、台座の上に乗せたり雲のくぼみに挟みながら立たせたり、雲をぎゅっとつかませたり尾を雲に巻きつけたり等々様々なポーズができるようになっていきます。安定させるため雲は下部を重くしています。どうぞお好みの飾り方でキラキラの龍をお楽しみください。

【仕様】	素材	解説
本体	ポリエステルファー、アクリルファー	頭・胴体・たてがみ・腹部・四肢・尾・肩・ひげ等を構成する本体の布地全般に使用。たてがみ、肩、ひげ、尾は長毛のファー、腹部、内耳は光沢の強い短毛ファーで素材感に変化を付けています。
目	グラスアイ(ブルー)	職人手作りのグラスアイです。 眉の毛並みの位置を変えることにより様々な表情を作ることができます。
ジョイント	ぬいぐるみ用可動骨格(頭~背骨~尾、四肢) テクノロート(指)	可動骨格は背骨位置に固定しています。四肢も同様に動かせます。お好きなポーズで飾ってください。 指の部分はテクノロート(樹脂ワイヤー)です。 龍玉を持つ左前肢のみ指と玉を接着固定していますが、他の肢は足首~指を曲げることができます。
詰め物	化繊わた	可動骨格部品の動きを邪魔しない程度にわたを詰めています。
鼻上部・口	刺繍糸	龍の表情(鼻のしわ、大きな口など)を刺繍糸で表現しました。
装飾	鱗: スパンコール, ガラスビーズ 角: アクセサリーチャーム(レジン加工) 爪: ネイルチップ(レジン加工) ひげ: 金属ワイヤーリボン(編み加工) 龍玉: ガラス(ビー玉) (固定)	色とりどりのスパンコールを鱗に見立て、本体のファー生地にはビーズで1枚ずつ刺繍しました。 光の反射により様々な色にキラキラと変化します。 鳥形のチャームをベースに光を反射するホログラムパウダーを入れたレジンで加工しました。 人用の透明な爪パーツを細く切り、龍の爪に見立てました。 キラキラとしたホログラム入りの透明レジンで表面を加工しています。極力安全に配慮して厚塗り加工をしていますが、硬い素材ですのでお取り扱い時には十分お気を付けください。 超極細のワイヤーで編まれた細いリボンを、ひげの付け根のみ太くなるよう編んでから下に垂らしました。金属の重みでどのポーズでも下側に垂れます。一本のリボンを鼻脇に通して加工しており抜け落ちません。付け根の太い部分は若干の形付けができます(詳細は下記)。 龍玉は指に接着固定しており取り外せません。無理に剥がさないようにしてください。
その他	台座(雲形) 骨格部品入り お手入れブラシ付 水濡れ厳禁	素材: ポリエステルファー、詰め物: 化繊わた 雲形台座に付いている赤いタグはマーガレットベア作品のしるしです 当作品は可動品ですが、骨格が折れない程度に優しくお取り扱いください(詳細は下記)。 付属のブラシで毛並みのお手入れができます(詳細は下記)。 水洗いはできません。必要に応じ付属のブラシで埃を取るなどお手入れを行ってください。

【龍作品の飾り方】

準備物	…作品本体、雲形台座、付属のお手入れブラシ、手袋(必要に応じて)
飾り方順序	①可動骨格の動き方を確認 ②取りたいポーズを大まかに作る ③台座に乗せる、またはくぼみに挟むなどして体勢を安定させ固定 ④四肢のポーズを決める→肩とひじに関節部品が入っており背骨よりさらに角度をつけられます。 手足首~指は樹脂ワイヤー(テクノロート)入りで曲げられます。→台座をつかむように四肢、指を曲げて固定すると見映えが良くなります。

骨格の動かし方

- ・ぬいぐるみ用の丈夫な可動骨格部品を使用しており軽い力で曲げられます。必要以上に強い力を加えると脱臼し折れる場合がありますのでご注意ください。
- ・本体は首のあたりや胴体~尾を両手で持ち、優しく曲げ伸ばししてください。
- ・四肢のポーズを決める際は肩の付け根辺りをしっかり持ち動かしてください。
手足首、指は樹脂ワイヤーは手足首の付け根を持ち動かしてください。→台座をつかむように四肢、指を固定すると見映えが良くなります。
- ・顔の向きを変える場合は両耳の付け根を優しくつかみ、左右や斜めなど良い方向に優しく動かしてください。

毛並みの整え方

- ・ポーズを取らせた後に付属のお手入れブラシで毛の流れる方向に向かって全体の表面を軽くなでるように整えてください。
→毛足がブラシに絡まないよう尾の方から少しずつ整えてください。
→絡まった毛を引っ張ると毛が抜ける場合があります。
- ・全体の毛並みが整ったら、最後に指で背骨沿いのたてがみをつまんで伸ばし背骨に垂直に起こすと見映え良く仕上がります。
同様に頭部のたてがみや尾の部分もお好きな毛並みに整えてください。
- ・長毛部分の毛並みは最後に毛先を指先や少しだけ触ると自然な毛並みに仕上がります。

ひげの整え方

- ・両ひげは一本の金属ワイヤーリボンでできており接着固定していますので抜けることはありません。
- ・両方のひげの太い部分と細い部分の境目あたりを優しくつかみ、左右同時に軽く引っ張りながら鼻の上あたりまで持ち上げてからゆっくりと下におろすと、太い部分を横方向に張り出させることができます。
- ・細い部分は必要に応じ指で軽くつまみ、形を整えてください。